

● 授業計画

1年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	3限	免疫学特論	免疫システムの誤作動により引き起こされる疾患について、特に細胞株を使用した実験における細胞・分子レベルでの誘導機序を理解し、生体応答における意味を思考する。	長田 吉田	カンファレンス ルーム
8月 ～ 11月	毎週	月曜	1限	腫瘍免疫学 (がん専門医師養成科目)	免疫システムは外来異物に対する防御機構であるのに対し、ガンは自己の細胞における遺伝子異常などが引き金となり異常増殖がはじまるといふ相違点を踏まえながら、細胞・個体レベルでの免疫制御機構を分子レベルで理解する。	長田 吉田	カンファレンス ルーム

2年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第3	火曜	3限	免疫学特論	免疫システムの誤作動により引き起こされる疾患について、特にマウスを使用した実験における細胞・分子レベルでの誘導機序を理解し、ヒトへの外挿を思考する。	長田 吉田	カンファレンス ルーム
毎月	第2	火曜 木曜	13:00 ～ 14:30	免疫学演習	生体内における免疫反応を担う細胞および関連分子を明らかにするため、in vitroの解析法の手技手法を習得し、初代培養細胞、細胞株を用いた免疫反応を理解する。	長田 吉田	免疫学・寄生 虫学 研究室
毎月	第1 第2 第3	水曜	3限	免疫学実習	免疫学演習で得た手技・手法を用い、生体内における免疫反応をアレルギーモデルマウスなどを用い生体免疫反応を解析する。	長田 吉田	免疫学・寄生 虫学 研究室

3年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第2	火曜 木曜	13:00 ～ 14:30	免疫学演習	マウスや初代培養細胞、細胞株、および標的分子の機能を消失させる手技を習得し、細胞・分子レベルでの生体応答を明らかにする。	長田 吉田	免疫学・寄生 虫学 研究室
毎月	第1 第2 第3	水曜	3限	免疫学実習	免疫学演習で得た手技・手法を用い、生体内における免疫反応を担ガンモデルマウスなどを用い生体免疫反応を解析する。	長田 吉田	免疫学・寄生 虫学 研究室
毎月	第2 第4	金曜	3限	免疫学論文指導	免疫学的視点により書かれた論文を取り上げ、その一つ一つの図の意味が論文でどのような位置づけにあり、最終的にどのような結論を導き出せるのかを議論する。	長田 吉田	カンファレンス ルーム

4年次

日程			限目 時間	科目	内容	担当者	場所
毎月	第1 第2 第3	水曜	3限	免疫学実習	ノックアウトマウス、トランスジェニックマウスを作成し、免疫反応を修飾する処理をしたモデルマウスなどを、詳細な生体免疫反応を解析し、一分子の生体での役割を解明する。	長田 吉田	免疫学・寄生 虫学 研究室
毎月	第2 第4	金曜	3限	免疫学論文指導	種々の免疫学的手法および分子生物学的手法を用いて得られた結果を図にし、そのレジェンドを作成後、実際の投稿論文としてまとめて、国際誌へ発表する。	長田 吉田	カンファレンス ルーム

